



一般質問

■駅前パトリアの破産申請について

これまでの経緯の説明を！

**質問** 七尾都市開発の破産申請に関連して、①テナント権利を有していたユニーから、不動産所有権における償還の背景について。②これまでに再建築の打診が七尾都市開発側からあったと思われるが、どのような対応をしたのか。③パトリア管理組合の説明責任と、市は経営上どこまで把握していたのか。

**答弁** ①ユニーからの不動産譲渡については、将来のために有効活用していただきたいとの思いで寄付をいただいた。持ち分を明確にするため、1〜2階を都市開発、3階は七尾市の区分所有することとなった。②収支改善のため市税の減免や、七尾都市開発の財産を市に寄付した上で、別会社が営業を継続するとの打診もあったが、税負担の公平性や支援の妥当性などの観点から受け入れられるものはなかった。③管理組合は、区分所有法に基づき建物の所有者によって組織されており、区分所有者が経費を負担し、建物の維持管理を行う。そういったことから、組合そのものには資産はない。また破産したのは七尾都市開発であり、管理組合がテナントに対し、都市開発の破産について説明責任はないと考える。



西川 英伸 議員  
(新国会)



パトリア

【その他の質問項目】  
■七尾サンライフプラザの経営方針について  
■税金以外の徴収状況と滞納整理の方法について  
■空き家の適正管理対策について



山添 和良 議員  
(未来)



一般質問

■ヘルプマークについて

ヘルプマークの普及を！

**質問** かばん等に貼り付けるヘルプマークは、周囲の方に援助や配慮を必要としていることを知らせるもので、ヘルプカードは携帯し、いざというときに必要な支援を求めるものだが①ヘルプカードは普及しているか。②新たなヘルプマークの配布は行わないのか。③普及に向けた民間との連携や、児童生徒への啓発のための教育委員会との連携についての考えはあるか。

**答弁** ①県内では各市町が独自でヘルプカードを作成しており、七尾鹿島手をつなぐ育成会と知的障害者連絡会がヘルプカードを共同で作成し知的障害者を対象とし配布している。配布実績は平成31年2月現在療養手帳保持者515人に対し62人と聞いている。石川県が平成31年5月中にヘルプマークの配布を目指し準備を進めていると聞いている。②石川県の今後の取り組みを踏まえ、配布しているヘルプカードとは別に、本市で新たなヘルプカードの作成を検討していきたいと考える。その際には、配布対象者、配布方法、カードデザイン等を含め検討していく。③石川県では広く県民への周知啓発を予定しているが民間企業との連携は広域的な取り組みが必要と考え、県と協力し行っていくべきである。教育委員会と連携しヘルプマークをテーマとした学習を検討していく。

【その他の質問項目】  
■学校における働き方改革について  
■生活困窮者について

一般質問

■これからの上下水道経営について

上下水道料金体系の据え置きと事業の維持を！

**質問** 下水道事業が公営企業会計に移行した趣旨と従来からの変更点は何か。現行の料金体系は保たれていくのか。市として上下水道事業を維持していくための広域連携の考えはあるのか。

**答弁** 当該事業の財政状況などが把握できるよう、一般企業のように複式簿記で、貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書などの財務諸表を策定することで、年度収益や経費によって損益などの事業成績のほか、年度末で保有している資産や負債などを管理する。上下水道料金の地域差については、下水道料金が平成18年10月使用分から、水道料金が平成20年4月使用分から、市内全域が統一化されており、既存の施設設備の統廃合など、経費の節減を進めながら財政状況を把握し、定期的に料金体系の見直しを行っていく必要があると考え、特に下水道事業では一般会計からの繰入金が多額となっており、平成31年度においては上下水道事業審議会に諮り、料金改定の準備を進めていきたいと考えている。広域連携については、全国の事例、県内の動向を注視していきたい。

【その他の質問項目】  
■一般社団法人ななお・なかのとDMOについて



木下 敬夫 議員  
(無党派)

